

コロナビ掲載事例紹介(一部)



多世代交流拠点 「おおなみ・こなみ」運営事業

運営団体：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
パートナー：検見川商工振興会・千葉市立検見川小学校



「多様な世代が交流し、それぞれが持つ能力を活用し合うことで困難を解決すること」を目的に、地域の核となるメンバーによる運営協議会の協議をもとに、常設の地域交流拠点を設置し、ミニ講座の開催や「まちづくり、暮らし相談」等を実施しています。施設内には、子育て支援コーナーとして、絵本やおもちゃを備えた「およこカフェけみがわ」も設置しています。



ノーマライゼーション学校 支援事業

運営団体：NPO法人ちばMDエコネット
パートナー：千葉県教育委員会・千葉県



障害のある人もない人も区別されことなく、共に生きる社会づくりを目指す「ノーマライゼーション」。障害のある子どもたちがより良い学校生活を送れるよう、NPOが学校サポーターとして、学校生活のなかの困りごとについての相談受付や、学校と本人及び保護者のニーズに基づいた関係者等とのコーディネートを行います。



環境にやさしい花いっぱい のらが町づくり

運営団体：千葉県立安房拓心高等学校園芸部
パートナー：南房総市富浦地域づくり協議会「さざなみ」
NPO法人和田地域づくり協議会「WAO！」



「楽しもう！おとなも子どももみんなでエコ！」をテーマに、ペットボトルを再利用したハンギングバスケットによる花壇づくりや、ハンギングバスケット教室を実施することで、道の駅に訪れた観光客や地元の方にペットボトルを再利用したハンギングバスケットの存在を知ってもらい、作製・使用していくことで環境にやさしい花いっぱいの町づくりをしています。



千葉県の建設業の仕事

運営団体：NPO法人企業教育研究会
パートナー：千葉県魅力ある建設事業推進協議会



建設業関係者の日々の活動が人々の暮らしに密接に関係していることをわかりやすく伝えるため、県内の小中学校を対象に、千葉大学の学生や建設業関係者を外部講師として派遣し、実際に工事が行われている河川の映像や模型を使用したり、実物の土壌などに触れる体験等を通じて、建設業の仕事を具体的に学べる社会科等の授業を実施しています。

ほかにもいろいろな事例を紹介しています。詳しくは、『ちばコラボナビ』をご覧ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/npo/colanavi/zirei.html>

(発行) 千葉県環境生活部県民生活・文化課
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1
電話：043-223-4133 FAX：043-221-5858
メール：npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp
(協力) NPO法人トージバ 青木秀幸氏

※千葉のNPO・ボランティアに関する情報は「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」からどうぞ。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/npo/nponet-link.html>

<協働の取組紹介>

ちばコラボナビ 活用ガイド



『ちばコラボナビ』(通称「コラナビ」)は、協働の取組みを紹介するサイトです。

この活用ガイドは、『コラナビ』をより多くの方に、より効果的に活用していただくため、その特徴や活用の仕方などをご案内するものです。

近年の多様化・複雑化する地域課題の解決には、市民活動団体、地縁団体、企業、自治体等の様々な主体が、それぞれの強みを活かし、協働して取り組んでいく共助社会づくりを進めることが重要となりますが、その重要性は認識していても、協働への一歩がなかなか踏み出せないという声がよく聞かれます。

市民活動団体と協働したいけど

どんな分野でどんな協働ができるの？

どんな団体があるの？

その団体って信頼できるの？

などなど…協働への道のりはまだまだ平坦ではないようです。

『コラナビ』が、少しでもそんな疑問や不安の解消につながることを願っています。ぜひ、ご活用ください。



「何ができるかな?」「誰かいないかな?」探してみよう

一人一人の力は小さくても、みんなが力を合わせれば、それは何かを変える大きな力になる。
はじまりは、いつも誰かの小さな「想い」から…
それを大きく育てるのは、共感するココロ♪

私たちの知識や専門性…つながれば地域の課題が解決できるかも いま、私たちにできること…一緒に考えてみませんか?

1+1>2 になるということ

自分には自分の考え方や目的がある。違うもの同士がつながるのは難しいし、一人の方が楽なコトもある。
それでも、一緒にやることの意味って何だろう…
難しくても、大変でも、それよりもステキなものが手に入るとしたら、やってみる価値はあるかもしれない。



『コロナビ』の特徴と活用方法

『コロナビ』は、県内の市民活動団体と様々な主体が連携・協働して地域の課題解決に取り組んでいる事例のほか、協働の主体となる団体等の情報も併せて紹介しています。企業や市町村をはじめとした地域の皆様に、市民活動団体との協働を始めるための参考として『コロナビ』を活用していただき、県内での連携・協働の取組みがさらに進むことを期待しています。

●事例紹介ページの掲載項目●

- ①活動分野（まちづくり／福祉（高齢者・障害・子ども）／環境／教育・文化）
 - ②協働パートナー（種別）企業／行政／教育／地縁／NPO
 - ③事業の手法 ④事業費 ⑤事業概要
 - ⑥協働までの経緯 …………… なぜ協働に至ったのか、社会背景や各主体の持つ課題や目的がどのようにして共有されたのか
 - ⑦主な事業内容(年間スケジュール等)… 具体的な事業内容
 - ⑧主な協働パートナーとの役割分担…… 事業企画や運営、事務などの分担
 - ⑨協働事業によって生まれた成果………… 事業成果も含めた、協働だからこその効果やお互いのメリットなど
 - ⑩コラボのコツ！…………… 協働にあたって工夫した点、うまくいくためのアドバイス
 - ⑪今後力を入れていきたいこと…………… 発展的継続のための課題やその解決方法及び目標など
 - ⑫運営団体マネジメント&活動実績…… 運営団体の基本情報や受託・表彰歴等
- コロナビトップページから、団体HPにリンクした紹介ページをご覧ください

県内で取り組まれている協働事例と団体の紹介

市民活動団体との協働に関心を持つ企業や市町村から寄せられる、「協働事例が知りたい」「パートナーになれる団体がわからない」という要望や悩みを解決するため、連携・協働して成果を挙げている事例とともに、中心となって取り組んでいる団体（以下「運営団体」）の情報を掲載しています。

事例内容はもちろん、団体の活動実績や運営状況など、協働のパートナーとして考える際の参考にしてください。

活用ポイント

☆上手に協働を進めるための「コラボのコツ!」を掲載☆

「連絡・相談はまめにする」「相手のメリットも考える」…などなど、これから始める人にも、うまくいかずに悩んでいる人にも参考になるアドバイスがいっぱいです。

市民活動団体とは

「市民が主体となって継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない民間団体」のことで、法人格の有無や活動の種類は問いません。例えば、福祉やまちづくり、環境など、様々な分野で活動する団体があります。

一般には「Non Profit Organization：非営利活動団体」の略語であるNPOという名称で広く知られています。

ホームページによる紹介・情報提供

『コロナビ』は、冊子での配布はしていません。協働事例はこれからも増え、現場の状況も常に進化していきます。「紹介されている内容は古い」というものにならないよう、冊子ではなく、更新が可能なホームページという手法を選びました。

今後も新たな事例追加はもちろん、継続中の事業や団体情報も、必要に応じて随時更新していきます。

参考にしたい事例がありましたら、お気に入りに保存したり、印刷してオリジナル事例集としてご活用ください。

掲載事例に関わる団体のホームページにリンク

掲載事例に関わる団体には、それ以外にもそれぞれ独自の活動があります。掲載している多くの団体の活動をぜひ知っていただきたいので、『コロナビ』では、ホームページという手法を活かし、各団体のホームページにリンクさせました。

気になる団体がありましたら、すぐに調べることができます。

「協働」について

県では、「2つ以上の担い手が」「それぞれの目的の実現のために」「それぞれの得意な能力・専門性に基づき」「役割分担をして」「一つの事業を実施し」「相乗効果のある成果を外部に生み出すこと」としています。

例えば、公園管理を考えると、子どもの健全育成を図ろうとする市民活動団体や地元子供会などと、どのような公園にするのか、そのためにどのようなことを実施するのかなどを協議し、それぞれの目的や特性が生きる形で、目標や成果、役割分担などを決めて、公園に新しい価値を生み出していく。このような事業を協働事業といっています。お互いを理解して、win-winの関係になること。どちらにもメリットのある関係って大事ですよ。